

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	4274 フィールドワーク(地域環境1)			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	許可			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	火曜3限				
教室	H104理科室				
代表教員	堂前 雅史				
担当教員	堂前 雅史				
テーマと到達目標	フィールド生物学実習の入門編。現代人にとって「自然」とはメディアや観光を通じて消費されるものとなってしまった。本講義では、都市の自然の中に生息する動植物を観察することを通じて、自分の足もとにある自然を自分の目と手足で感受する能力を身につける。				
概要	主として大学キャンパス周辺の自然環境を定点観測する。林、水田、小川などで見られる動植物を記録観察する。また日によっては定点観測ではなく、大学付近の地域の自然環境の踏査や、鶴見川の生物調査、あるいは鶴見川源流からの踏査も行う予定である。通常の授業時間に収まらないので、次の時間（火4限）はあけておくこと。補講期間に予定されている鶴見川源流まで遠出する時には交通費がかかる。 また以下の授業内容は、天候などによって変更されることがある。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	オリエンテーション。許可者決定				対面授業
第2回	調査地域ごとに班分けをする				対面授業
第3回	定点観測				対面授業
第4回	定点観測				対面授業
第5回	定点観測				対面授業
第6回	岡上地域自然踏査（天候によっては延期して、定点観測となる）				対面授業
第7回	定点観測				対面授業
第8回	定点観測				対面授業
第9回	定点観測				対面授業
第10回	微生物観察のための顕微鏡実習				対面授業
第11回	定点観測				対面授業
第12回	鶴見川生物調査と清掃（雨天の場合は延期して、定点観測）				対面授業
第13回	定点観測				対面授業
第14回	まとめ。私のフィールドは生きものにとってどういう場所なのか。				対面授業
第15回	鶴見川源流からの踏査（補講期間に行う予定）				対面授業
成績評価の基準	毎回のレポート、授業への参加状況を総合的に評価する。試験はない。毎回、真剣に自然観察する意欲と感性がないと持たない。				
履修にあたっての留意事項	顕微鏡などの実験設備による制限のため人数制限をする。許可のやり方については、初回オリエンテーションで連絡するので必ず出席すること。 作業の進み具合によっては授業時間を超過する場合がありますので、次の時限（4時限目）をあけておくこと。 毎回、真剣に自然と向き合う意欲がないと持たないので、その点を十分に認識して履修登録してほしい。 この科目は地域流域プログラムのコア科目である。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	鶴見川源流に行く時に、町田までの電車賃と町田からのバス代がかかる。		
教科書	この授業では自然が教科書である。 また、ほぼ毎回、図書館から50冊ほどの図鑑を借り出す。図鑑を借りだして、教室に運ぶ「図鑑係」は当番制となるので、当番も真面目にやること。	教科書(ISBN)	
参考文献	特に以下の本は参考になる 前田信二『神奈川 いぎもの図鑑』メイツ出版 (2010) 神奈川県植物誌調査会編『神奈川県植物誌2018』(上・下)神奈川県植物誌調査会 (2018)	参考文献(ISBN)	9784780408091 9784991053702 9784991053719